



住みなれた地域でいつまでも 安心して過ごしていくために

団塊の世代が75歳をむかえる2025年、3人に1人が65歳以上になる時代がやってきます。

介護や医療、地域住民の皆さまが協力していくことが大切になってきます。まずは、介護保険制度について知っていきましょう。

令和5年度は、年間を通して「介護保険制度」の情報をお届けしています



訪問看護とは??

病気や障がいのある人が住みなれた地域やご家庭で、その人らしく療養生活をおくれるように、医師の指示により看護師等が生活の場を訪問し、看護ケアを提供することで、自立への援助を促し、療養生活を支援するサービスです。

こんなとき!!訪問看護をご相談ください

- 入退院を繰り返している
- がんの治療や病状の進行による苦痛・不安などがある
- 認知力の低下や認知症がある
- 嚥下機能が低下している
- 栄養状態がよくないので改善したい
- 床ずれがある、発生する危険がある
- 医療処置を継続する必要がある
- 自宅での療養生活に不安がある
- 薬の管理ができないので一緒に管理してほしい
- 自宅で最期まで過ごしたい



(参考:公益社団法人愛知県看護協会「訪問看護の活用のしかた」)

訪問看護の具体例

入退院を繰り返している場合
(糖尿病、心不全、肺炎や尿路感染症など)



入退院を繰り返している原因を考え、生活・療養環境を整えます。入院中に医師や看護師などから指導されたことが、自宅で行えるか不安や心配に思っている時に、自宅で再度指導します。

(公益社団法人愛知県看護協会「訪問看護の活用のしかた」引用)

◎利用のご相談は、お住まいの地域のいきいき支援センター、ケアマネジャー、かかりつけの医師などにおたずねください。

まちなか相談室レポート

今年度も「まちなか相談室」には、たくさんの地域の皆さまにご利用いただき、ワークショップや相談を通じて、皆さまの笑顔にふれることができました。

これからも、安心して相談できるいきいき支援センターとして活動していきますので、よろしくお願いいたします!!

皆さまの声

- ★身近に寄り添っていただけます
- ★楽しみに来ています
- ★毎回参加されている方がさくにお話され、なごやかな雰囲気があり、いい空間だなと思います
- ★まちなか相談室が月1回のイベントとして定着しています
- ★手芸も楽しく、家に飾っています。クリニックでも自慢しています!!
- ★介護の相談ができよかったです



ワークショップ作品



けんこうコラム

寒暖差の激しくなるこの季節、自律神経が乱れ心身に不調をきたしやすくなります。

こんな症状ありませんか??

- なぜか体がだるい
- 朝起きるのがツライ
- イライラして落ち着かない
- やる気が出ない
- 寝つきが悪く眠りが浅い
- 食欲があまりない

対策は??

- ①バランスのよい食事を意識する
- ②入浴でリラックス! ストレス軽減
- ③質の良い睡眠をとる
- ④冷え対策に取り組む



お知らせ

中区いきいき支援センターが**健康・介護・福祉・認知症**について出張相談を行う「まちなか相談室」へ お買い物や散歩の際にお立ち寄りください。

毎月第1水曜日 (祝日はお休み)

午前10時~11時30分 マルエイギャラリー2階 無印良品にて

名古屋市中区いきいき支援センター

月~金曜日(祝日・年末年始除く) 午前9時~午後5時

☎: 052-331-9674 (本センター)

052-262-2265 (分室)

健康・福祉・介護などのお困りごとはお気軽にご相談ください



LINE

Facebook